

沖縄県中部地区で我が国の財政の現状や 政府の取組を情報発信 No.2



【財務部】

国の財政状況や政府の取組を広く多くの方に知っていただくため、
コザ信用金庫、沖縄商工会議所などと共催し、
沖縄市で経済・財政講演会、意見交換会を開催しました

沖縄総合事務局財務部では、我が国の財政の現状や政府の取組を広く国民にお伝えし、理解を深めることを目的として、毎年、財務省主計局の幹部を講師として招き、財政講演会を開催しています。

これまでは那覇市での開催が主でしたが、今年は中部地区に広く情報発信を行うため、沖縄市に本店を構えるコザ信用金庫・沖縄商工会議所などと共催し、主計局の森田調査課長、コザ信用金庫前屋専務理事を講師に講演会を開催しました。また、講演会翌日には、沖縄商工会議所・コザ信用金庫の協力のもと地元経済界の皆様を募り、意見交換会を開催しました。

コザ信用金庫「経営者友の会」ご協力、 経済・財政講演会を開催

8月20日、沖縄市民会館で経済・財政講演会を開催し、金融機関、経済団体、地方公共団体、一般企業など合わせて121名にお集まりいただきました。講演は2部構成とし、第1部で、コザ信用金庫前屋専務理事から「中部経済の動向」についての講演を行い、第2部に森田調査課長から「我が国の財政について」の講演を行いました。

参加者は講演について熱心に聞き入っており、質疑応答では、「人口減少が見込まれる中でどのようにGDPを高めていくのか」、「人口構造や社会構造が変わってきている実態から社会保障制度の改革が必要ではないか」などのご質問があり、講師から、丁寧でわかりやすい説



第2部：森田調査課長による講演

明がありました。講演会後のアンケートでは、「有意義であった」「次回の講演会にも参加したい」と多くの評価をいただいたほか、「人口減少に伴う我が国の在り方についての講演も聴いてみたい」などのご意見が寄せられました。

地元経済界との意見交換会

翌8月21日、沖縄商工会議所会議室において、地元経済界のメンバー14名と森田調査課長との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、「膨大な公債残高があり将来世代への影響が心配だが、若

者の緊迫感が足りない」、「日本の財政健全化に向けて、債務残高の対GDP比の良好な国の施策を取り入れていくべきではないか」など、前日の講演会から更に踏み込んだ意見があったほか、「沖縄市では観光客の滞在時間が短く消費に繋がっていない」、「大きなホテルが無く他の市町村に観光客が流れて行っている」との地元の課題についても意見交換がなされ、地元の声を伺う貴重な機会となりました。

当部では、多くの皆様に、より一層ご理解を深めていただけるよう、今後も我が国の財政状況や財政健全化に向けた政府の取組などを情報発信してまいります。



意見交換会の様子

財務部理財課

☎098-866-0092